

今月の主な内容

- 2面:大産大「やらせ受験」を受けて
- 3面:【特集】就職活動のこれから
- 6面:近大野球 8季ぶり優勝
- 7面:関大サッカー 関西選手権優勝



神戸大学ニュースネット

NEWS NET

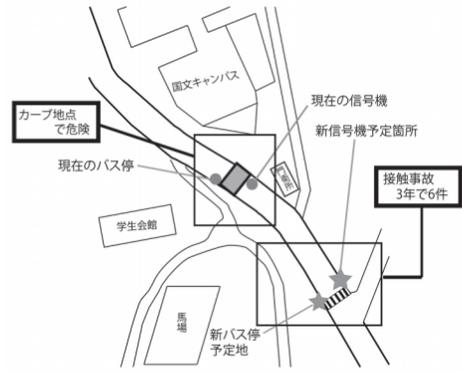
©神戸大学ニュースネット委員会 http://home.kobe-u.com/top/newsnet/
 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-2-24 たいこんビル4階
 電話 06-6307-1315 FAX 06-6829-6353 メール info@unn-news.com

【特集】4面へ
学ぶ意欲は低下したか

6・7月号

国文バス停移設問題

住民の安全か学生のニーズか



鶴甲第一キャンパス(国文キャンパス)の最寄りバス停「神大国際化学部前(六甲ケープル下方面行き)」の移設構想が、学内アンケートで明らかになった。安全を考慮した地域住民からの要望によるものだが、利用する学生の意見は賛否両論だ。

現在のバス停はカーブ地点にある。後方を走る自動車からは停車するバスが死角になり、安全性が疑問視

されている。また、バス停から100m離れた三叉路には信号機がなく、過去3年間で6件の接触事故が発生していた。交通安全上から、鶴甲自治会などからの要望を受け、現在国文キャンパス門前所前にある点滅信号と横断歩道を撤去して三叉路前の直線区間に新たに設置、バス停も併せて動かす案を大学に持ちかけた。護衛の担当者「まだ案の段階で(バス停を管理する)市交通局にも話していない。大学が困ると言えは移設はしない」と話す。バス利用者の学生は「移設でキャンパスまで遠

くなる、一限に間に合わない」と不満。安全を考慮した移設理由については納得する意見が多かったが、「大量の乗降客でキャンパスまでの歩道が混雑し迷惑になる」といった声も聞かれた。【田中謙太郎】

部室で盗難も後の祭り

5月初旬のゴールデンウィーク、六甲台グラウンド部室棟で盗難事件が発生した。被害に遭ったのはサッカー部などの3部。練習中に何かが部室に侵入し、財布の中身を抜き

取った。5万円から8万円相当の被害を受けた部もあったが犯人は見つかっていない。侵入を受けたとされる時間帯は部室棟に人がおらず、さらに部室の鍵が開いていて容易

に忍び込める状況であった。「部室に置いておけば大丈夫」という油断があったのではない。

学生課ではマネージャーによる貴重品の一括管理の徹底などを呼びかけている。【高橋和弘】

鍵の閉め忘れ

原因は

大学での新生活に!
 就活にグ〜ンと有利!

朝日新聞

未来を創る大学生のあなたへ
 大学生応援価格の登場です。

朝日新聞月々購読料 (通常価格) 3,925円
 ↓
大学生応援価格
2,500円

※大学生応援価格2,500円は、1ヶ月の購読料(税込)です。ひとり暮らしの大学生限定です。1年以上のご購読契約で、口座振替または、クレジット払いが条件となります。

お問い合わせ・お申し込み

ASA 神戸なだ

神戸市灘区土山町 1-13
 ☎ 078(851)5678
 ✉ info@asa-kobenada.com

六甲祭 深江キャンパスで



今年度の深江祭の様子。六甲祭もこのような雰囲気で行われるのか

六実「深江ぎりぎり大丈夫」

6月6日、六甲祭実行委員会(六実)のTwitterで「第34回六甲祭は深江キャンパスで開催することになりました」というアナウンスがされた。前代未聞の同キャンパスでの開催、果たしてどうなるのか。

今回の会場移転の発端は「一キャンパス(六甲台)は今年3月にさかのぼる。六甲祭期間中も工事実は大学側から「六甲台第一」を行うため、例年のような開催はできない」との連絡が来た。交渉を重ねたが、安全を最優先に考慮しやむを得ず六甲台での開催を諦めた。

そこで六実が目指したのは、他キャンパスでの開催。案として近隣の鶴甲第二キャンパス(発達科学部キャンパス)、鶴甲第一キャンパス(国文キャンパス)、そして深江キャンパスの3つが候補として挙がった。しかし発達科学部キャンパスと国文キャンパスはどちらも

「深江でやると決まり、同じ出と店もしやすいしやるか、という話になっている」

・2年男子
 「深江キャンパスは広い上に平地なので移動はしやすいと思うが、国道43号線に接して車の乗り入れが不便だと思う」

◆海事科学部生の反応

「深江でやると決まり、同じ出と店もしやすいしやるか、という話になっている」

・4年男子
 「深江でやると決まり、同じ出と店もしやすいしやるか、という話になっている」

・2年男子
 「深江キャンパスは広い上に平地なので移動はしやすいと思うが、国道43号線に接して車の乗り入れが不便だと思う」



応援団副団長
中塚万智さん
 (農・4年)

「神戸大を楽しく元気にしたい」。チアリーダーとして運動部を応援するだけでなく、部活間の交流会や学内のイベントに携わる。先々では率先して周りの人に話しかけ、場の雰囲気を盛り上げる。

中塚さんの活動は応援団に留まらない。農学部地域連携センターの学生スタッフとして、農村に関わる教員や学生を盛り上げている。「神戸大生は中途半端なプライドが邪魔をして、なかなか仲良くなれない人が多い印象」と話す中塚さん。「だからこそいろんな人と仲良くなりまくりたいし、たくさんの人とつながりたい」と積極的だ。明るい笑顔を振りまき、今日も元気に走り回る。【鈴木太郎】

神戸大生の元気をサポート!

「神戸大を楽しく元気にしたい」。チアリーダーとして運動部を応援するだけでなく、部活間の交流会や学内のイベントに携わる。先々では率先して周りの人に話しかけ、場の雰囲気を盛り上げる。

中塚さんの活動は応援団に留まらない。農学部地域連携センターの学生スタッフとして、農村に関わる教員や学生を盛り上げている。「神戸大生は中途半端なプライドが邪魔をして、なかなか仲良くなれない人が多い印象」と話す中塚さん。「だからこそいろんな人と仲良くなりまくりたいし、たくさんの人とつながりたい」と積極的だ。明るい笑顔を振りまき、今日も元気に走り回る。【鈴木太郎】

SNSの注意点周知 USJ騒動受け

4月9日に神戸大が会員を謝罪した、文学部2年生らによるユニバーサル・スタジオ・ジャパン(USJ)での迷惑行為騒動。今回の騒動が大きく変わったのは、迷惑行為の詳細をSNS上に書き込んだことが主な原因だった。それを受け大学側は、会員からおよそ1カ月経った5月10日に「SNS等インターネット上の情報発信について」という声明を発表した。

声明には、騒動の引き金となった「自らの個人情報を安易に公開することは危険を伴う」という点を挙げて、SNSがどういったものか理解して、安易な情報発信に気を付けてほしいと話した。【香月隆彰】

周知はさまざまな形で行われた。1年生全員が履修する講義「情報基礎」では特別に時間を設け、SNSでの注意事項を指南。また文学部が学生向けの講演を実施、発達科学部が学生用メールアドレスに通知するなど、2年生以上の目にも触れるよう工夫している。

声明の発表を提案した藤田誠一理事・副学長は「事件を受けたものではあるが、SNSがどういったものか理解して、安易な情報発信に気を付けてほしい」と話した。【香月隆彰】

伏流水

六甲祭の会場が深江キャンパスに変更される。六甲で開催されなかった六甲祭、東京ディズニーランドが千葉にあるようなものか?世の中変わったままの世の中だ。平家物語には盛者必衰って書かれてあるし、固定相場は変動相場になったし、女心は秋の空だし。不変なものってなかなか見つからない。人間は変化を嫌う生き物らしい。かの有名なガリレオ・ガリレイは17世紀天動説に代わり地動説を主張し裁判で有罪となった。キリスト教が教義を重んじ、受け入れなかったから。しかし変化を受容し、適応することは大きな意味を持つ。人々は地動説を受け入れ、科学の常識になった。ガリレオは科学に革命を起こしたのだ。我々もそう。周囲の変化を受け入れることは喜ばれや苦しみを伴うが、成長できる。不変なものはない世界では変化することしか生きられない。▼▼▼最近、月9ドラマのヒロインが変わってしまった。降板した彼女のTwitterをフォローし不定期にリツイートする私に言わせればこの変化は受け入れられない。実におもしろくない。やっぱり変わらないからこそのものもある。【仲林恒平】

硬式野球

課題
くつきり

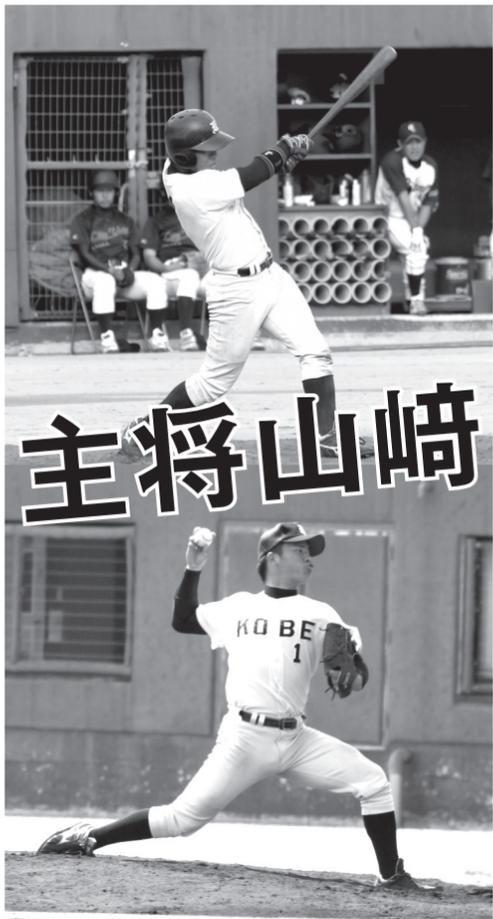
春季リーグ4位

近畿学生野球連盟春季リーグが4月8日から5月24日に行われ、神戸大は7勝6敗、勝ち点で4位に終わった。一昨年に一部昇格を果たし、昨年は春季3位、秋季2位と、ともに上位で終えた。昨年のレギュラーが7人残っていたが、今季は下位に低迷。神戸大の今季の戦いぶりを振り返り、その要因を探る。

初戦は昨年負け越した和歌山大。昨秋敢闘賞にも輝いたエース瀬川(工・3年)をマウンドへ送るも、得意とする制球が定まらず5失点と誤算。打線も再三チャンスを作るもあと一本が出ず、11残塁。6-8と初戦を悪い形で落としてしまった。その後、今季から投手とや中村監督がよく口にした「その後、今季から投手とや中村監督がよく口にした」

二刀流でチーム支える

硬式野球部主将を務める山崎(工・4年)は、投手ながらも打線の中軸を担う「二刀流」でチームを引っ張る。大阪府立大との第4節第1戦では6番投手として先発。10回を1安打完封に抑えた。またリーグ王者、奈良産業大から白星をもち



主将山崎

投手不足の問題があり今季からマウンドに立つ山崎。打球は丁寧なコースを突くスタイルだ。第4節第1戦の10回1安打完封を始め、春季リーグ初登板だった第2節第1戦では9回1失点、第1節第2戦では9回完封と好投を重ねた。防御率は1.53で、ほとんどの試合を失点以内にとめる安定感が魅力だ。来季、さらにパワーアップした二刀流の活躍が期待される。【香月隆彰】

奈産大から1勝

課題が残る一方でチームにとって希望も見られた。近畿学生野球連盟には8季連続王者の奈産大がいる。しかし神戸大は第5節第1戦で今季奈産大からリーグで唯一「白星」を挙げた。先発はエース瀬川。キレのあるストレートと持ち味のチェンジアップを効果的に使い、奈産大に的を絞ら

◎近畿学生野球連盟 1部春季リーグ

第1節	vs 和歌山大	●6-8	○4-0	●1-2
第2節	vs 大阪工業大	○3-1	○2-0	
第3節	vs 大阪大	○8-6	●1-2	●1-3
第4節	vs 大阪市立大	○2-1	○3-1	
第5節	vs 奈良産業大	○2-0	●0-5	●1-4

成績 勝ち点2 7勝6敗
勝率0.538 4位

サッカー

サッカー部が大きな飛躍を見た。関西学生サッカー選手権大会3回戦で1部リーグの大阪産業大に競り勝ち、2部からは数少ないベスト16入り。4回戦でも同じく1部の立命館大と戦い、一時同点に追いつく意地を見せた。

◎関西学生サッカー選手権大会

2回戦	vs 佛教大	○3-2
3回戦	vs 大阪産業大	○4-4 (11 PK 10)
4回戦	vs 立命館大	●1-4



立命館に先発したイレブン(5月19日・J-GREEN 堺で 撮影=シュレスタ亜紗子)

部 見せた快進撃

◎関西六大学春季リーグ

5勝5敗 4位

◎関西地区大学準硬式野球トーナメント大会

《一次トーナメント》

1回戦	vs 滋賀大経済学部	○15-4
2回戦	vs 京都府立医科大	○3-2
二次進出決定戦	vs 兵庫教育大	○8-1

《二次トーナメント》

1回戦	vs 京都産業大	●2-9
-----	----------	------

準硬式野球部

関西六大学準硬式野球春季リーグが3月21日から4月18日まで開催され、準硬式野球部は5勝5敗の4位でシーズンを終え、5年ぶりの関西トーナメント進出を果たした。関西トーナメントでも2次リーグに進出し、惜しくも初戦で京都産業大に敗れたものの全国まであと1勝のところまで登りつめる快進撃。好調の理由について「投手陣が良く投げた」と主将の溝口(工・4年)は話す。先発の守田(経産・2年)・濱田(工・4年)そして守護神内藤(経産・4年)を中心とした投手陣がチームの目指す1点差で勝つ野球を体現。4年生が引退しメンバーは大きく変わるが、「僕たちができなかった全国へ行くという夢を実現してほしい」と溝口は後輩たちに期待を寄せている。

タッチフット 苦戦

秋はどうなる

◎春季関西学生女子タッチフットトーナメント

準決勝	vs 立命館大	○39-0
決勝	vs 武庫川女子大	●19-52

今年1月、東京ドームで行われたさくらボウルにて、日本一に輝いたタッチフットチームROOKS。しかし、春リーグ決勝で宿敵武庫川女子大に19-52で大敗。春の全国大会「シュガーボウル」進出を逃した。その武庫川女子大はシュガーボウルで優勝。ROOKS主将の公端(発達・3年)は会場まで試合を見に行き「もし自分たちが武庫川女子大に勝っていたらこの場所にいられたのだと思うと悔しい」と話す。しかし「実力差を見せつけられた」と努力しないと勝てない」と戦力差を分析。さらなるレベルアップの必要性を感じていた。

アメフト 1勝5敗1分

vs 甲南大	○24-7
vs 桃山学院大	●13-23
vs 横浜国立大	●6-10
vs 関西学院大	●17-20
vs 龍谷大	●10-31
vs 近畿大	△14-14
vs 立命館大	●0-30

不調の原因は

アメフト部は6月15日までに春シーズンの7試合を終えて1勝5敗1分。2部の桃山学院大相手にも星を落しを献上してしまっ。秋のリーグ戦でも不調が続くなら2部降格も免れない。「際立った存在がいな」と主将のDL嶋崎(海事・4年)は救世主は現れるか。【石橋雄大】